

平成28年度助成決定一覧表

A. 博物館学芸員等の内外研修に対する助成

応募:16件 決定:12件

分類 番号	氏名	所属機関	研修テーマ	研修施設名
		役職名		研修期間
1	門脇 誠二	名古屋大学博物館 【愛知県】	『ホモ・サピエンス世界拡散の足跡をたどる:ヨルダンの旧石器遺跡調査と人類進化の展示活動』 私達ホモ・サピエンスがアフリカからユーラシアへ拡散した起点となった西アジアで遺跡発掘を行い、拡散の年代や当時の物質文化、古環境に関する研究を行う。その成果を、人類進化に関する展示や講演会の学術基盤として活用する。	カルハ山旧石器遺跡群(ヨルダン)
		講師		7/24~8/18
2	斉藤 大朋	新ひだか町博物館 【北海道】	『宮内省新冠御料牧場関係資料を教材化するための試行的研究』 宮内省新冠御料牧場関係資料の教材化を図る調査研究に方向性を与えるため、牧場の本質がひと目でわかる地図資料のGISデータ化と映像資料の加工・編集を行い、それらの教材化について可能性を探る。	北海道立図書館・日光市立日光図書館
		学芸員		4/1~3/31
3	高橋 拓	飯豊町教育委員会 教育文化課 生涯学習振興室 【山形県】	『米沢藩領を中心とした17世紀における東北窯業技術の伝播ルートの研究(2)』 樺焼裏山窯跡を中心とした東北の近世窯跡資料と、肥前陶磁器の近世窯跡資料との比較検討を行い、近世における東北への窯業技術の伝播についてそのルートを明らかにし、東北全体の窯業史研究に役する。	佐賀県立九州陶磁文化館、有田町歴史民俗資料館他
		主事		2月
5	甘粕 幸恵	宮城県民会館 【宮城県】	『ゲーツヘッド市(イギリス)における文化施設を拠点とした都市の再生と各種教育プログラムについて』 文化芸術による都市の再生において、文化施設が地域に果たす役割や、教育プログラムの波及効果について調査する。また、先進的事例を持つ劇場で各種プログラムの企画運営について研修し、当館の事業の充実を図る。	セージゲーツヘッド・ウィグモアホール
		総務管理係長		9/15~29
6	三宅 克典	東京薬科大学 薬用植物園 【東京都】	『熱帯・亜熱帯地域に分布する薬用資源植物の性状ならびに管理・展示方法に関する調査』 日本国内の温室での薬用資源植物の管理・展示の充実を目的に、シンガポール植物園などで植栽、あるいはウビン島で自生の薬用植物について、生育環境や性状、ならびに管理・栽培・展示方法について調査する。	シンガポール植物園他
		助教		7/25~30
7	加藤 太一	ミュージアムパーク 茨城県自然博物館 【茨城県】	『“恐竜”を通して自然科学を学ぶ展示』 作成のための標本および現地博物館、フィールドの調査』 来館者の興味関心が高い『恐竜』を通して、自然科学への理解を深める展示を作成するために、海外における最新の恐竜研究について聞き取り調査を行うとともに、重要標本および展示手法、関連するフィールドの視察を行う。	ロンドン自然史博物館他
		学芸員		10/13~26

分類 番号	氏 名	所属機関	研修テーマ	研修施設名
		役 職 名		研修期間
8	木村 敏之	群馬県立自然史博物館 【群馬県】	『ヨーロッパの自然史系博物館における 展示及び施設リニューアルについて』 社会の中で博物館が求められる姿や担うべき 役割の変化等への対応として、どのように 博物館という存在自体をリニューアルし具 現化していくのか、その課題解決の方策を 探るため、自然史系博物館のリニューアル について新たな展示手法等の調査を行う。	ベルギー王立自然史博物館 他
		主幹(学芸員)		11/2～15
9	西田 雅美	公益財団法人 日本科学技術振興 財団・科学技術館 【東京都】	『生命科学分野の展示・ワークショップ 手法の調査・研究 ～見えない現象を理解するために～』 近年発展が著しい生命科学分野における “目には見えないけれども確かに起こって いる現象”を来館者によりわかりやすく伝 え、理解してもらうために、欧州の博物館で はどのような展示手法を実施し、どのような ワークショップを開催しているのかを調査す る。	ドイツ博物館他
		副主任		10/12～24
10	南部 留美	独立行政法人 国立科学博物館 【東京都】	『新たな地質学的時代区分である 「アントロポシーン」の展示についての 調査研究』 今後の潮流となりうる新しい地質学的時代 区分「アントロポシーン」をテーマとした先進 的な展示事例を調査し、今後の当館にお ける「アントロポシーン」の視点を取り入れた 展示テーマの検討や展示制作に活用す る。	ドイツ博物館他
		名物展示担当係長		7/7～14
12	須田 真由美	山形県立博物館 【山形県】	『柴崎弥左衛門家寄贈雅楽資料に 関する調査』 当館に収蔵されている尾花沢雅楽関係資 料を軸に、宮廷雅楽の伝播や経路を調査 し、江戸後期の在郷商人と公家との交流を 明らかにする。この成果を踏まえ展示会を 実施するとともに、地方に伝わった民俗芸 能の継承と普及の一助とする。	徴古館(佐賀市)他
		学芸員		8月～1月
14	石井 美恵	佐賀大学 芸術地域デザイン学部 【佐賀県】	『ツタンカーメン衣装の保存と展示の ための基礎研究』 ツタンカーメン衣装の保存と展示の技術開 発が最終目的。2013年にリニューアルした 世界第2位の古代エジプトコレクションであ るトリノエジプト考古学博物館にて、古代エ ジプト衣装の保存と展示の最新事例を調査 し、ツタンカーメン衣装の参考とする。	トリノエジプト博物館
		准教授		8/21～27
15	吉田 恵理	静岡市美術館 【静岡県】	『「オーバリン大学 アレン・メモリアル美術 館 メアリー・アインズワース・コレクション」 調査と山水画譜の実態と利用について』 本コレクションは、日本人研究者による本格 的調査はされていないが、世界で1点しか ない版画も含まれ、浮世絵の通史が外観で きる優れた内容である。同時に版本調査も 実施し、「山水画譜」の実態と利用に関する 調査研究にも結び付け、展覧会で紹介した い。	オーバリン大学 アレン・メモリアル美術館 (アメリカ)他
		学芸課 係長		10/10～21

B. 博物館に関する国際交流に対する助成

応募:4件 決定:4件

分類 番号	博物館名	事業名等	実施場所
			実施時期
1	公益財団法人 日本博物館協会 【東京都】	『ICOM(国際博物館会議)ミラノ大会の 博物館見本市への参加と出展』 イタリア・ミラノ市で開催されるICOMの大会において、「博物館見本市」へのブース出展を行い、日本の博物館に関する情報を発信するとともに、2019年ICOM京都大会の周知PRに努める。	ミラノ
	会長 銭谷 眞美		7/4~6
2	全国科学博物館 協議会 【東京都】	『平成28年度全国科学博物館協議会 海外科学系博物館視察研修』 研修事業の一つとして毎年実施しているもので、加盟館園から参加者を募って視察団を組織し、海外の科学系博物館を視察調査、意見交換することにより、加盟館園の職員等の資質向上を図ることを目的とする。	アメリカ西海岸の 代表的な科学系博物館
	理事長 林 良博		1/9~19
3	公益財団法人 古代オリエント博物館 【東京都】	『秋のクローズアップ展 「化粧 貴人の嗜み 庶民の喜び」』 5000年前の西アジアで化粧はどのように行われていたのかを、古代の化粧道具や化粧を施した壁画や彫像の写真資料、実物などを通して展観する。昨今の西アジア地域の内戦の激化によって多くの文化財が失われているが、日本に将来されて保管されているものも多くあることも知らせたい。	古代オリエント博物館
	館長 中田 一郎		10/1~11/28
4	国立大学法人 名古屋大学 名古屋大学博物館 【愛知県】	『台湾書道家・朱振南 書と水墨画の 世界 -書による日台文化交流と 後藤新平の再評価-』 台湾書道を代表する朱振南氏の書・水墨画展を当館で開催し、両国の共通文字である漢字による日台文化交流を行う。同時に、台湾総督府時代の後藤新平の資料(国立台湾博物館所蔵)についても展示する。	名古屋大学博物館
	館長 大路 樹生		9/13~10/29

C. 青少年の社会教育活動に対する助成

応募:26件 決定:17件

分類 番号	団体名	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
1	滝沢市子ども会育成連合会 【岩手県】	『第9回たきざわ夢灯り2017』 子供たちが冬の星空の下に集い、それぞれが思いを込めて作り上げた雪洞に未来の夢を託し、一斉に点灯して心をつなげることを目的とする。また、様々な団体にも参加を呼びかけ、市内全域で実施することにより、広域性のある市の風物詩となる事業を目指す。	滝沢市役所前他
	会長 主演 恵悦		2/11
2	岩手県ユネスコ協会連盟 【岩手県】	『平成28年度岩手県国際交流活動研修会 ～第13回岩手県高校ユネスコ研究大会～』 県内各地から参加する高校生が、国際交流・国際協力を推進するユネスコ精神や環境、平和、福祉、人権、震災復興などの今日的課題を学び、人々が共存し持続可能な社会を目指すためにできることを話し合い、その実現に向けた実践力を養うものである。参加型学習や他校生との協働体験により、新たな自分を発見する。	国立岩手山青少年 交流の家
	会長 三田地 宣子		1/20～21
3	特定非営利活動法人 アートアンドアーキテクト フェスタ 【大阪府】	『建築ワークショップ奈良・明日香村』 建築や環境デザイン等の分野を専攻する学生がキャンパスを離れ、国内外で活躍中の建築家を中心とした講師陣の指導のもと、その場所における社会的な実作品を作り上げることを目的とする。	国営飛鳥歴史公園
	代表理事 平沼 孝啓		7/2～9/5
4	特定非営利活動法人 空・山・川・海・大地を 愛する会 【青森県】	『童謡・唱歌継承プロジェクト 一ふるさとを英語で歌おう!!』 童謡・唱歌を全く知らない若い人達が多い今日、日本の自然や郷土・情緒や抒情を歌う童謡・唱歌の素晴らしさを再認識するとともに、童謡が英訳されるとどのような表現となるのか、日本語の持つ魅力を知ってもらいたい。	青森市・七戸町の 小中学校
	理事長 金子 春雄		10月～11月
5	秋田県立近代美術館 【秋田県】	『出前美術館 ～ARTが学校にやってきた～』 来館が難しい地域の学校に、所蔵作品や国の重要文化財である「不忍池図」(秋田蘭画)のレプリカを展示し、児童・生徒が務める「子ども学芸員」が地域住民に作品解説を行う活動を通して、作品についての理解を深めるとともに、地域住民との心の交流を図ることを目的とする。	大潟村立大潟中学校
	館長 仲町 啓子		10/29～11/3
6	復興の詩プロジェクト 実行委員会 【宮城県】	『復興の詩プロジェクト』 復興への想いを詩の形で募集し、音楽家が楽曲を制作し、毎月街かどの復興支援コンサートでこれからの復興を担う青少年たちに発表してもらおう。11月には独唱コンテスト、12月には総括のコンサートを実施。	①街かどチャリティコンサート (藤崎前他) ②独唱コンテスト (シュトラウスホール) ③コンサート (宮城学院女子大学)
	実行委員長 松尾 英章		①4月～11月(月1回) ②11/6 ③12/4
7	一般社団法人 宮城県子ども会育成連合会 【宮城県】	『がんばれ～みやぎっ子!!』 子どもたちの豊かな心をはぐくみ、震災後、本来の子どもらしさを取り戻してもらうために、集団宿泊活動、自然体験活動を実施する。仲間と協力することでできる野外炊飯やグループ活動、自然を利用したの沢遊びなどを取り入れ、安全を確保するため高校生のジュニアリーダー等で実行委員会を結成し指導に当たる。	国立花山青少年自然の家
	会長 熊谷 芳明		8/17～19
8	特定非営利活動法人 スペース・アンド・タイム・ クリエーション 【山形県】	コンクリートカヌー東日本地区競技力向上事業 『①第5回コンクリートカヌー東日本大会 ②第22回土木系学生によるコンクリートカヌー大会』 東北地区中心の工業高校土木科系の学生が、課題授業の一環でコンクリートを主材としたカヌーを製作し、タイムレースを行う。不足している土木系技術者の養成を、競技性と物づくりの両面からバックアップする。	①グリバーさがえ(寒河江市) ②埼玉県戸田市 荒川調整池(彩湖)
	理事長 佐藤 政人		①8/6～7 ②8/27

分類 番号	団体名	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
10	特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン 【宮城県】	『環境教育や実践を通じた住民との協働による 青少年人材育成「未来教室」プロジェクト』 かつての登米市は自然豊かな水田地帯だったが、現代は汚染やコンクリート溝化で生態系に悪影響が出ており、水辺に近づく機会が少なくなったことから、子どもたちが暮らしている故郷の自然の良さを再認識するために、講話と実践を企画。	登米市内の小学校
	理事長 小野寺 敏		4/1～3/31(計6回)
11	公益財団法人 登米文化振興財団 【宮城県】	『結成15周年記念 劇団ドリーム☆キッズ 第14回ミュージカル公演』 年間を通して歌やダンス、演技を練習し、学校とは異なる集団でミュージカル公演を実施することで、青少年の表現力や精神力、協調性や社会性を高める。地域に良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	登米祝祭劇場
	理事長 佐藤 寛一		9/10～11
12	こどもっっちゃ!商店街 実行委員会 【山口県】	『こどもっっちゃ!商店街』 勤労感謝の日に商店街を活用し、多様な事業者(プロ)と一緒に働くというリアルな職業体験を通して、「働く楽しさ・喜び」を体感することにより、子どもの労働観・職業観、夢に挑戦する積極的な行動力を育む。	徳山商店街一帯 (周南市)
	実行委員長 清水 芳将		11/23
13	下京本楽隊 【京都府】	『本とお芝居と音楽による区民交流ワークショップ』 本離れた児童、青少年に、本への興味を持ってもらうこと、また青少年が幼児から大人まで幅広い年齢層の人々と世代間交流体験ができる場を提供することを目的に、「本」をテーマとしたアーティストによるワークショップを実施。	下京図書館他
	代表 紙本 明子		6月～3月(5回)
14	公益財団法人 札幌市芸術文化財団 【北海道】	『札幌芸術の森 国際ユースジャズキャンプ』 北海道を中心に世界から子どもを集めた国際音楽交流事業。一週間にわたる共同生活とジャズを通じた文化交流の中で、音楽を一緒に作り出す喜びや楽しさを実感することにより、子どもたちの豊かな感性を育む。	札幌大通公園、札幌芸術の森 アートホール他
	副理事長 橋本 道政		7/31～8/6
15	芝浦工業大学 地域連携・ 生涯学習センター 【東京都】	『少年少女ロボットセミナー in仙台 2016』 小中学生を対象に、ロボットづくりを通して、モノづくりの楽しさ、ロボットの構造などについて体験学習をさせ、日本の科学技術を担う人材育成に寄与する。	東北福祉大学 仙台駅東口キャンパス
	センター長 小野 直樹		6/18～19
18	障害をこえてともに自立する会 「喫茶わいがや」 【東京都】	『「生きづらさ」を抱える若者による 当事者研究事業』 「生きづらさ」を抱える若者が、自らの経験や国立市公民館内の「喫茶わいがや」等での活動をふり返り、語り合う「当事者活動」を行う。また、こうした活動の記録分析を通じて、社会教育における若者の取り組みの意義を明らかにしていく研究を行う。	国立市公民館内
	会長 柳 倫之		・月に1回程度の研究会 ・年に2, 3回の公開学習会等
20	秋田若者活性化委員会 【秋田県】	『FROM PROJECT 秋田』 大学生が秋田県の高校生を対象に実践型講座を開催し、普段学校で学んだことを地域社会に還元できるよう育成を図る。講座は事業設立のノウハウを学び、参加者はチームを組みその知識を活用し、活動を推進する。	国際教養大学
	代表 竹内 董		5月～7月(12回)
26	特定非営利活動法人 子ども育成支援団体 キハト会 【宮城県】	『もがりっこ体験教室の運営』 自分のことが自分でできるという基本、そしてお互いを認め人の痛みの解る思いやりのある人間になれるように、そして社会性を持ち自立できる大人になるように、野外体験・伝統文化伝承活動・創作活動等を提供することで、宮城の復興を担える子ども達の健全育成支援に寄与する。	大河原町・白石市他 県内各所
	理事長 岩淵 礼子		4月～3月

D. 文化及び芸術等の振興に対する助成

応募:32件 決定:17件

分類 番号	団体名	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
1	みやぎ民話の会 【宮城県】	『民話伝承のための「語りの交流会」企画・運営』 伝承者の高齢化によって失われつつある民話を記録し、次世代へ伝承することは急務である。この記録を宮城県内「民話の語りの団体」に提供し、「語りの交流会」を通して民話への理解を深め、次世代への伝承を推進する。	①聞き取り調査:福島市 ②語りの交流会: 大河原町の施設
	代表 山田 裕子		①6月～11月 ②10月
2	一般社団法人 仙台オペラ協会 【宮城県】	『2016仙台オペラ協会第41回公演 「ヘンゼルとグレーテル」』 子供たちも口ずさむことが出来るようなメロディーもあり、誰もが楽しめるE.フンパーディング作曲のオペラ「ヘンゼルとグレーテル」を公演し、オペラの普及と地域の音楽文化の振興に寄与する。	東京エレクトロンホール 宮城
	会長 藤崎 三郎助		9/3～4
3	N-ovalビル音楽サロン 【宮城県】	『N-ovalビル音楽サロン monthly concert-Monday afternoon-』 クラシック音楽の啓蒙、情操教育の一環として、仙台の一般市民に生きた音を味わってもらうためと、地元若手演奏家の活動の場を提供することともに育成を兼ねたクラシック音楽コンサートを、定期的に開催する。	N-ovalビル一階 オープンスペース
	代表 野口正一		毎月1～2回
6	佐取純子モダンバレエスタジオ 【宮城県】	『創作舞踊「LEGEND～義経になった男～2016」』 岩手県金ヶ崎町の作家平谷美樹さんが、河北新報に連載した小説を舞踊化する。源義経の影武者の数奇な運命や奥州藤原氏の深遠さなど、洋舞と日舞を組み合わせて表現する。3度目の公演で、バージョンアップを図る。	日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター)
	スタジオ主宰 佐取 純子		9/25
8	アート・パフォーマンス Projet La Voix des Poètes (詩人の聲) 【東京都】	『アート・パフォーマンス Projet La Voix des Poètes(詩人の聲)』 東京を何時でも詩人の肉聲で詩が聴ける街にすると同時に、詩人や作家の声を育て、美しい母語の日本語を世界に響かせたい。肉聲を聴ける機会がほとんどない今こそ、声を鍛え、肉聲の力を復権させたい。	ギャルリー東京ユマニテ他
	代表 天童 大人		通年で約140回 開催予定
9	公益社団法人 宮城県芸術協会 【宮城県】	『第53回宮城県芸術祭』 県民に対し広く芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、人材育成を目的とした絵画・工芸・書道などの公募展やピアノコンクールを実施し、宮城県における芸術文化の振興発展に寄与する。	せんだいメディアテーク他
	理事長 大場 尚文		9月～3月
16	バッハホール管弦楽団 (加美町市民オーケストラ) 【宮城県】	『バッハホール管弦楽団ニューイヤーコンサート』 本楽団の演奏技術と音楽性の向上や地域住民の教養の向上と情操の純化を図ることを目的として、地域の人々に音楽をもっと身近に感じてもらえるようニューイヤーコンサートと題して演奏会を開催し、地域のコミュニティ能力を高めていく機会にしたい。	中新田バッハホール
	音楽監督 金澤 茂		1/22
18	「TOKOYO」パリ写真展 実行委員会 【宮城県】	『「TOKOYO」パリ写真展』 端山信仰を下敷きに、震災の喪失体験を物語化。子供達のポートレート、原風景、無形文化財の写真をパリ中心地のギャラリーと広場に展示。紋切型を脱却し、復興への萌芽を写真で表現。より深い日仏の相互理解を促す。	パリ
	代表 山田 なつみ		11/9～27
21	喜多方発21世紀シアター 実行委員会 【福島県】	『喜多方発21世紀シアター』 演劇・音楽・落語・大道芸などの舞台芸術創造団体を一堂に集め、喜多方プラザ文化センターを中心として、喜多方市街地の様々な場所や喜多方広域圏内で公演を繰り広げるステージアートフェスティバルを実施。	喜多方プラザ文化センター他 喜多方市内
	会長 風間 勝		8/5～8

分類 番号	団体名	事業名等	場所
	代表者名		実施時期
22	喜章会 【東京都】	『第7回 能への誘い』 平成22年より開催している能の公演。演目の合間に解説を交え、初心者でも能楽を気軽に楽しめることをコンセプトとしている。また、仙台市内の小中学生を招待し、本物の伝統文化を体感する機会を提供している。	仙台市民会館
	宰主 佐藤 章雄		10/11
24	上通商業会 【熊本県】	『上通アートプロジェクト2016 「江口寿史展」KING OF POP くまもと上通』 生活に密着した商店街で、市民により豊かな時間を過ごしてもらうための「上通アートプロジェクト」。本年は、デザインやイラストレーションの世界にも大きな影響を与えた熊本出身の画家、江口寿史とともに、ポップな商店街を演出する。	上通商店街(熊本市)、 熊本市現代美術館他
	会長 河島 一夫		9/22～10/24
25	仙台短篇映画祭実行委員会 【宮城県】	『ショートピース！仙台短篇映画祭2016』 主に仙台で上映される機会の少ない国内外の短篇映画や自主制作作品の上映を行うことで、来場する人々に映画や映像の面白さを体験してもらえるような場所を作ることを目的としている。	せんだいメディアテーク
	実行委員長 菅原 睦子		9/17～19
26	非営利型一般社団法人 多賀の城文化事業協会 【宮城県】	『郷古 廉×カメラータシュルツ・ウィーンコンサート』 自らも震災の被害にあいながらウィーンに留学し活躍している多賀城出身のヴァイオリニスト、郷古廉と、ウィーンのカメラータ・シュルツのコンサートを開催し、震災にあった住民の心を癒し、地域の振興、新しいまちづくりに役立てたい。	多賀城市文化センター
	代表理事 片岡 良和		5/21
27	帯広コンテンポラリー アート実行委員会 【北海道】	『帯広コンテンポラリーアート2016 「ヒト科 ヒト属 ヒト」』 1970年から100年計画で、市民の参加によって進められている、市街地を囲む「帯広の森」を舞台として、形としての人体表現にこだわらず、表現の多様性と可能性に期待し、幅広い観点からヒトと森について考察する。	帯広の森内の草原
	実行委員長 伽井 丹彌		10/1～30
29	徳島邦楽集団 【徳島県】	『オウルリム30周年22回定期演奏会』 韓国のアマチュア国楽合奏団「オウルリム」の30周年22回定期演奏会に出演し、邦楽の演奏と楽器紹介を行う。平成22年に交流協定を結び、両国を行き来し交流を深めている。アマチュアでしかできない音楽活動での交流を続けている。	韓国釜山国立国楽院
	代表 藤本 玲		11/6
31	NPO法人ぶかぶか 【神奈川県】	『子ども達にオペラを・ゆめ基金』 地域の子供達に、オペラシアターこんにやく座のオペラ『ロはロボットの口』をプレゼントし、子供達の心を豊かにする。それは地域の未来を豊かにすることにつながっていく。イベントとして、『歌のワークショップ』も行う。	みどりアートパーク (横浜市緑区)
	理事長 高崎 明		3/4(ワークショップ)、 3/25(オペラ公演)
32	宮城学院女子大学 リエゾン・アクション・センター 【宮城県】	『子どもたちのための虹色のシンフォニー』 仙台市内外で活躍する音楽家の推薦によって選ばれた子どもソリスト、また音楽を専門的に学ぶ大学生ソリストと、音楽監督渡邊研多郎氏(山形交響楽団チェロ奏者)率いる「虹色のシンフォニー弦楽オーケストラ」が共演。長年学んだ音楽を、地域・子どもたちへ還元するプロジェクト。	①戦災復興記念館 ②練習:宮城学院女子 大学、イズミティ21他
	代表 市野澤 潤平		①8/16 ②8月(5日間)